

としょだより

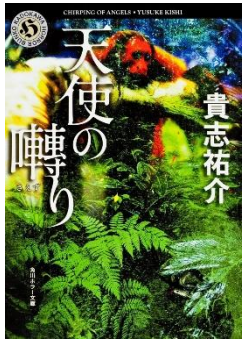
11月号
富山南高校 図書委員会発行
担当：22H 宋、高橋

11月に入り、日が落ちるのもすっかり早くなりましたね。
暗くなるのが早いこの時期に…
今月のテーマは「**ホラー**」です！



『天使の囀り』

貴志祐介 著／KADOKAWA

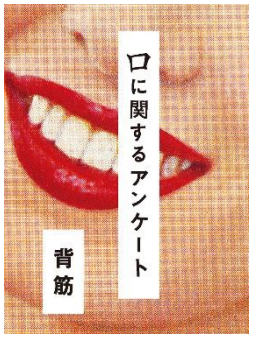


アマゾン調査隊として派遣された人々が、帰国後次々と異様な自殺を遂げる。

調査隊の人々に何があったのか、その背景には目を背けたくなるような真実が隠されていて…グロテスクな描写の多い、バイオホラーの定番作品です。

『口に関するアンケート』

背筋 著／ポプラ社



『近畿地方のある場所について』で大ヒットしたホラー作家・背筋さんの『口に関するアンケート』。

物語は、大学生５人が「ある心霊スポットで行った肝試し」について語る証言から始まります。仲間うちの１人が失踪したあの夜、一体なにが起きていたのでしょうか？ 一見バラバラに見える彼らの「証言」を読み進めていくうちに、隠された事実と不気味な違和感が少しずつ浮かび上がってきます.....!

この本の一番のすごさは「仕掛け」です。手のひらサイズでたった60ページほどしかなく、サクッと短時間で読めるボリュームなのですが、最後まで読んだ瞬間に「ちょ、待てよ」となってもう一度最初から読み返したくなります。さらにタイトルにある通り、物語の最後には「アンケート」が仕込まれていて、それを意識しながら読むことで自分自身もその恐怖に巻き込まれていくような、不気味なリアリティを味わえます。

長編小説を読むのはちょっと苦手という人や、ぞわっとするような新感覚のホラー体験をしてみたい人にとてもおすすめの１冊です！



＊書影の掲載は出版社の許可を得ています。

店頭選書に行ってきました

本屋さんで図書館に入れる本を選ぶ！



１０月９日金曜日、紀伊國屋書店富山店にて、実際に本を見て、図書館に入れる本を選び購入しました。



南高校図書館にふさわしい本は何か、みなさんが興味を持って読んでくれる本はどれか、真剣に考えて幅広いジャンルから２３冊選びました。ぜひ、図書館に見に来てください♪

書　　名	著　　者	書　　名	著　　者
お夜食処おやさいどき	森原すみれ	明治のナイチンゲール大関和物語	田中ひかる
君は誰と生きるか	永松茂久	印象派で「近代」を読む	中野京子
すいかの匂い	江國香織	けんごの小説紹介	けんご
七、八月のストローク	長嶋有	さび猫と古道具屋：神田がらくた屋謎解き帖	中島久枝
時計泥棒と悪人たち	夕木春央	シュレディンガーの殺人者	市川哲也
小説残置物展(KITORA)	岩倉文也	赤ずきん、ピノキオ拾って死体と出会う。	青柳碧人
透明な螺旋	東野圭吾	赤ずきん、アラビアンナイトで死体と出会う。	青柳碧人
小さな化学式の図鑑	ガリレオ工房	灰は灰：新宿探偵鬼束啓一郎	香納諒一
文法、どこにありますか?	高田祥司	あの日、君の背中を追いかけなければ	メンヘラ大学生
ダクダデイラ	餅屋蟄	すべての恋が終わるとしても	冬野夜空
短歌ください. 反対に回して篇	穂村弘	薔薇の名前. 上　完全版	ウンベルト・エーコ
		薔薇の名前. 下　完全版	ウンベルト・エーコ

10月27日(火)から11月9日(水)まで、読書週間です！

そもそも、読書週間って、なに？

終戦の２年後の１９４７（昭和２２）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第１回「読書週間」が開かれました。

それから約８０年、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらうきっかけとなることを願っています。



企画展示

県立図書館の本



11月は「藤子不二雄」です!

おなじみの「ドラえもん」「パーマン」「オバケのＱ太郎」などなど、英語版もあります。

改めて読んでみると、新たな気づきがあるかも…